



特定非営利活動法人

ユニユニユース

40

挨拶

ユニユニ理事長 中山 君江

二〇一四年がスタートしました。理事長の中山です。本年もごうぞろしくお願いいたします。

皆様ごとの二〇一三年はいかがでしたか。

私にとっては、新しく八月にあいえるせんたー逆瀬が誕生し、あついつまの年でした。でも、大切な人が何人か逝かれ寂しい年でもありました。

夏号に文章を掲載させていただいた池田さんとお父さんが逝かれたのは、ショックでした。原稿を見るたび未だに信じられませんが、改めて「冥福をお祈りいたします。

障害者情報クラブからとことこが生まれ、ついに地域活動支援センターが二ヶ所になり、にぎやかになりました。

宝塚市障害者自立生活支援センターのお力も貸していただき障害者スタッフが増えて、開所出来ました。

山本の障害者情報クラブ・センターは前が消防署で隣が理髪店、あいえる逆瀬も前が消防署で隣が理髪店、不思議なご縁

を。

法人の名前である「ユニユニ」を名付けた方は、単に障害者の方で、自分の足で歩きたい、ゆっくりでもごうから、「ユニユニ歩きたい』との思いでなっけられました。

今まさに法人が「ユニユニ」自分の足で歩きたいのをうれしく思います。

しかし、人数が増えると楽しい反面作業賃金を稼ぐのがとても大変です。自分で歩く為に印刷業、バザー販売、授産品作り、焼きいも販売、コーヒー販売、学校でのボランティアスクールなどをして、みんな頑張ってくれています。特に焼きいも担当、コーヒー担当はどこかで行事がないか、売らしてくれそうな所がないかと販売場所探しから頑張っています。本来なら作業賃金をもっとあげなければいけないのですが、文句も言わず、明るく頑張っている姿に心つたれます。これぞ地域活動支援センターだとおもいます。

自分の足で歩きたした障害者スタッフ、それを支えている職員、そして地域の皆様、福祉関係の、皆様、いろいろ力が加わって、もっと大きくなつてくつに思います。

皆様に、バザー用品を買っていただいて、焼きいもを食べていただいで、喉がつまりそうになつたら「コーヒー」を飲んでいただいで、印刷の注文をいただいで、頑張りたいのでご協力よろしくお願いたします。

あいにるせんだー逆瀬」が開設されましたことを心よりお慶び申し上げます。

平成九年八月に「障害者情報クラブーセンター」設立以来、様々な障害をお持ちの方でも必ずできる仕事がある』の理念のもとに、障害のある方が地域の中で元気に生活していく足がかりになる場所として、一歩を踏み出すための様々な取り組みをされ、着実に実績を積み上げてこられたことに、あらためて敬意を表します。

私ども相談支援事業所は、障害のある方とそのご家族が地域で安心して生き生きと自分らしく暮らすことが出来るようにお手伝いをさせていただいております。その中で、仕事が出来ない自立した生活がしたいという相談をお受けすることもあり、センターさんを紹介させていただいたことも多々あります。

ーセンターさんの魅力は何でしょうか、受入の枠の広さです。どんな方でも受け入れて下さる、ー田しながらスタッフとして活躍される方が多くいらっしゃいます。皆さんが責任を背負って自分のために力を尽くして下さる、好む「ー」拍「明」編集長」等の肩書にも表わして下さる方がいらっしゃいます。スタッフの方からは「田田責任で田田出来るから好き」、「自分たちの力

うな障害でも出来ることは絶対ある」といった声も聞かれますし、障害者の思いを実現していける場所と考えている方もおられます。皆さん、意欲的に楽しく働いておられることが伺えます。

また、もう一つの特徴は、地域とのつながりを大切にしておられることです。アイエルバザーやボランティアマースクール、長尾バリアフリーサロンでの「コーヒー販売等を通して地域に住む人との交流を深めておられます。その交流が、地域の皆さんと一緒に自立した生活を進めていくことにつながるものですし、スタッフの方自身の活動の場も大きく広がっているといえます。

この度は、あいにるせんだー逆瀬」といって新しい兄弟も増え、相談支援事業所として心強く感じいております。今後、便利な立地を生かして、新たな地域交流が生まれるのではないかと楽しみにしております。仕事を探している人、仲間探しをしている人等がおられましたら、ぜひ相談をさせていただきたいと思っております。

私ども障害者自立生活支援センターは、障害のある人が自立して安心して暮らせる暮らしを目指し、今後もーセンターさんをはじめ他機関と連携をとりながら密にいた取組を進めてまいります。

結びになりますが、今後の更なる発展を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

新年度がまもなくはじまります。



宝塚市身体障害者福祉団体連合会

会長 藤原 隆文

昨年秋の地域活動支援センター「あいのるせんたー逆瀬」の船出に対しても重ねてお祝い申し上げます。その折には、盛大な開所式にお招き頂きありがとうございました。皆様の笑顔と豪華な料理に囲まれて幸せなひとときを過ごすことが出来ました。

思い起こせば今からおよそ二〇年前に宝塚市で集う全国集会所が開かれ、その参加者が中心となり「障害者情報クラブ」が発足されました。それ以後、アイエルセンターや特定非営利活動法人とここが次々に開所され、そしてこの度の地域活動支援センターのオープンです。それぞれのハンディキャップに負ける事なく数々の偉業を展開して頂く皆様のバイタリティー溢れる活動に敬意を表します。

宝塚市の福祉は「障害者情報クラブ」のみならずが牽引してこられたお蔭で、随分と向上して来たと思います。しかし心の段差はなくなるといふか逆に人々の心の奥深くに隠れていて、ただで、差別を受ける状況にはなんら変わりはありません。

健全者は共に生きるの「なごい」かしのお題目を唱え、

も社会福祉に貢献しているかのよような素振りを見せていますが、実際には私達を別世界の人種だと思っています。だからわざわざ共に生きるの「なごい」です。

スキーや交通事故などで足を骨折し数ヶ月不自由な生活を経験しても治つてしまえば辛かった状況の事なんかすっかり忘れてしまいます。障害のある人どうつ接したらいいのかわからないと言つて人がいますが、自分が苦しい状況の時どうして接して欲しかったんや」と私は思つています。

新年のご挨拶で愚痴ばかり言つてゐる私もどうかとは思いますが、愚痴を「ほそす」にすむ社会にするためにも、皆さんの力をお借りして一日一日を大切に過ごしてご来た

と思つます。
今年も千年、みんなで元気に駆け抜けましょつ。



あいのるせんたー逆瀬の業風景

「地域に根ざした活動を目指して」

障害者情報クラブ代表

井上 きよ子

皆様方にはいつも当会にご協力・ご支援を賜り、深く感謝しております。

障害者情報クラブも今年で設立二十五周年を迎えることとなりました。当クラブは、一九八九年前年に行われた全国車いす市民集会の企画者の一員であり、宝塚市の住者の車いすの青年たち 当時は青年でしたがノーマニエーションを目指して立ち上げたものです。そのひとりが私で、初代の代表を務めておりました。その後、何名か代表が変わりましたが、三年前からまた私が務めさせて頂いております。そして一九九〇年より、阪神大震災の起こるまで、五回にわたり車いすウォークラリーを実施し、最終年は約五〇〇人参加したり、車いすガイドブックを作成するなど、障害者が街へ出る活動を続けてきました。

一九九七年には、山本に小規模作業所情報クラブ―センター
―自立生活センター―

現在の地域活動支援センターを開設し、二〇〇五年にはNPO法人セトコトコを立ち上げ、居宅介護事業所としても事業を始めました。また、このたび、アイエルセンターの利用者の増加により手狭になったことと、かねてから右岸にもセンターをこの要望もあり、あいえるせんた―逆瀬」を新しく開設するの
ことになった次第です。

「これまで、今まで障害者情報クラブが多々の方々に支えられてきたおかげだと思っております。

これからも、障害の有無、種別にかかわらず、地域に根ざした活動を続けていきたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします。ご
い致します。

私たちがあいえるせんた―逆瀬の

―ホームページです。

あいえるせんた―逆瀬は八月一日に開所しました。

スタッフ達の作業内容など…」

Y Aさん

一年前の八月のおわり。せんた―は
にぎやかで、パソコンで作文やインタ
―ネットをしている。これから、パソコ
ンの技術を上げたい。

K Tさん

今年の一月から入りました。せんた―の雰囲気は静か。彫刻版
画で授産品作品を作製しています。売り上げを伸ばしたい。

障害者―センター山本から移った。



あいえるせんた―逆瀬の外見です。

MYさん

コーヒー担当で焼き芋担当をしています。コーヒーと焼き芋は土日開催しものがあつたら、仲間と販売に行っています。普通の日は、水曜日と金曜日にテイクアウトと地域包括センターで販売に行っています。今はみんなが自分の仕事を持っているのでいいと思う。これからも新しく入ってくる人もやっていいたらいいと思います。

ZZさん



焼き芋、コーヒー販売、年賀状等の印刷に携わっています。逆瀬も若い新しいメンバーが増え、曜日によっては10人近くになる日もあります。みんなそれぞれに自分の出来る作業を探しながら毎日頑張っています。イベント等にも積極的に参加しています。僕もみんなに負けずに春から夏に向けて売上アップ目指して新規事業を考えています。

Kさん



日本のコーレセンターから数えて一四年になります。今の担当はバリバリ調査の担当と啓発担当をこなしています。いざいざかかせんたーで賞金を上げられるようにしたい。

MYさん

企画の部長をやっています、今は自分がどんな仕事ができるかどつかさがしています。パソコンが出来るようになったので、みんながパソコンを使って仕事をしたいです。



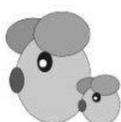
KMさん

イラストレーターで絵を描いています。授産品を作っています。焼き芋は一流品を買っているのが美味しかったです。

MMさん



パソコンを使って新年会の企画をしています。販売の手伝いをしています。今は通所に介助の人についてもらっています。今は一人が通所できるようになりたいです。



NTさん

十月から仲間になりました。せんたーの雰囲気はとてもいいと思います。私の仕事はパソコンのホームページの更新やチラシ作製で、それが主な仕事です。これからパソコンのスキルを上げていきたい。

SSさん

去年で悪いことは全部すませました。せんたーの雰囲気はと



てもいります。一カ月ほどしてから、交通事故で休んでしま
た。

一月の半ばかり復帰しています。今はパソコン練習をしてい
ます。これからのはパソコンの技術を上げていきたいと思います。



Y Mさん

私は、昨年の八月から あいえるせんたー逆瀬』で障がい者ス
タッフとして火 水週二回働いています。アットホームな雰囲気
に好印象を受け、働く決め手になった理由です。現在はポストカ
ードや年賀状中心のイラストを手描きで描いています。これか
らイラストは、もちろんの事でPCを使って名刺作りもやってい
きたい。

M Wさん



私は去年の八月一日から仲間になりました。

あいえるせんたーはいつも楽しいです。

この仕事三月にあえるポーターリング大会の企画を考えています。

これからしていきたいこと色々な仕事はPC、授産品作り、企
画)などです。

K Fさん



あいえるの雰囲気は、いいは、皆が作業の仕事をする作業所の

あいえるせんたーです！今作業している事】焼き芋、バザー販
売【これからしていきたい事】焼き芋、バザー販売とイベントも全
部やって行きたいと本当に思います！

山 中 京子 職員



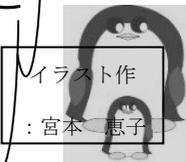
八月から逆瀬勤務になりました。初め山本と逆瀬を行ったり
来たりでしたが最近では落ち着いています。今はバザーというよ
り、リサイクルショップ風に服などの販売をしています。これか
らはもっと積極的にリサイクル品を集めていきたいと思いま
す。

藤 川 了 職員



新しくあいえるせんたー逆瀬ができて色々な方と関わりがで
きとてもうれしく思います。今年は、一年仕事に積極的に関わ
り、あいえるせんたー逆瀬で頑張りたい、あいえるせんたー逆
瀬をより多くの人に知ってもらえるように活動していきたいよう
に頑張ります。

あいうえお かきくけこ さしずんね ひふへお



☆☆☆☆☆☆☆☆

毎朝、おはようございますと元気な声でスタッフが出動してきます。昨日の事、通勤時に起こったことなど口々に話しながら少し休憩、そしてその後、十時からまあ、仕事始めよかと、皆に声をかけます。そして「○○さん今日は何したの？」と聞きます。先日、新しく入ったスタッフから作業所は職員さんから明日は○○さんねと云われ、毎日仕事が決まってしまうその通りするものだと思っていました。「ここは自分の好きな事が出来るんですねと不思議がられました。もちろん仕事によしては納期もあり、ギリギリに仕事をこなさないと云う時もあるけど急ぎの仕事がない場合は自分のしたい仕事をしていいんだよ。」

ここは自分探しの場所でどんな障がいがあっても何かできるというがあるし、自分でできることを仕事にしてそれが収入につながるはいいんだよからいいんだよ。まあ、おはようございますですなと井感していいました。

☆☆☆☆☆☆☆☆

昨年一月、スタッフ職員全員が今年の目標を書いて壁に貼るというのになりました、それぞれが自由目標を書きました。センター長は「目標、スタッフ二十人に増やす」と書いていたので、正直そんなに増えるのかなあ、二十人になったらこの部屋入らばいい

れへん」と思っていました。が十月には二十一人、今では二十三人になりました。二か所目を作るうと言っていたチーフの言葉が本当になり、八月一日オープンでドタバタの開所でしたが、今では山本と逆瀬を来する毎日となりました。名前もみんなできた。あいうえるせんたー逆瀬』となり、なぜか前は消防署、隣は散髪屋といつどこかで見たような風景で時々ここにいるかわかれへんようになるわ」と、言いながら楽しく過ごしています。何より部屋が広くなり大満足です。

しかし問題がひとつ、二か所になった為これまで以上に仕事を増やさないとやりくりが大変な事です。今までのバザー、授産品、コーピー販売に加えて秋には焼き芋販売、それと同時にちらし、名刺、年賀状印刷など頑張っているのですが、もっと収入を増やすように努力していかないと...



絵ー松村 行優

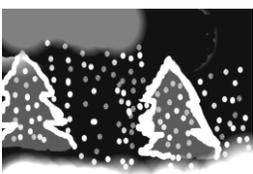
山中 君江 センター長

若い人が増えました。私も若くなりたいなあ。センター長の中山です。

無駄を無くそうという人の気持ちを踏みにじり、身体障害者の仕事を奪っている事に他なりません。本人には全くその気はありませんでした。ただ知識が無かっただけです。知識が無いという事も知らないという事、それがどれだけ恐ろしいことか良かれと思ってしまう人も結果的には悪くなっています。

そこで、私は言いたい。地球環境保護と身体障害者の為にADEE JAPANの割の善を使おう。

モハメドアリの矛盾



知識が無いという事、ものを知らないという事、それがどれだけ恐ろしい事かと言いつ事を割り善ハンブングのようにも書いています。モハメドアリも似たような事をしてしまっていました。

乾燥している砂漠地帯での事です。モハメドアリは、その人達を気の毒に思い井戸を作ったそうです。その人達は、以前は水のある所まで水を汲みに行っていたそうです。しかし井戸が出来てからは、水飲み場まで汲みに行かず井戸の水ばかりを利用したそうです。そのうちに井戸の水は涸れます。モハメドアリがまた井戸を掘ります。その人達はまた井戸をからしてしまいます。その悪循環は数回続きます。その結果、木が生えていた所は無くなり、人も住まなくなってしまう。完全なる砂漠の出

来上がりです。モハメドアリにそんな気持ちは全然ありませんでした。良くしようと思いい行動を起しています。その結果悪くなってしまう。本人は良くしようと思っているのですが、相反して結果は悪くなってしまう。これが矛盾です。モハメドアリの矛盾です。ものごとを知らなくという結果を生み出します。知識は必要です。本を読んでも下さい。勉強して下さい。その努力は報いられます。必ず役に立ちます。頑張ります。

おめでとうの半年だった。」

チーフ 川原崎 浩史

たくさんのお祝いの言葉本当にありがとうございます。

これからあじえるせんたー逆瀬のメンバーと共に更に良い作業所になるように頑張っていきます。

大変な仕事も前向きに頑張っている障害者スタッフ、職員、いつもありがとうございます。

陰からしっかり支えてくれている理事、介護支援センターというスタッフの皆さんいつもありがとうございます。

もちろん障害者情報クラブ、センターの仲間もより一層頑張っています。頑張ります。

「バザー用品」提供のお願い

「家庭の不要になった物を」提供下さい

アイエルセンターは、地域で生活する障害者の活動を応援する地域活動支援センターです。

ご提供いただいた品物は、アイエルセンターバザーや、各種イベント、などで販売させていただきます。

障害者の自立生活支援、障害者の権利擁護などの活動を支える資金作りのために、バザー用品のご提供をお願いしております。

募集品目

毛糸（アクリルー１００％、太め）

石鹸、洗剤、タオル、古着、食器類、

生活用品雑貨、子供用品など・・・

お気軽に一度ご連絡くださいね。



御礼

多額のご寄付をして頂いた西尾様に心よりお礼申し上げます。バザー用品を提供して下さった皆様、有り難うございました。

※新設したセンターの「あいのせんと」逆瀬「は平仮名を使っております。

名称説明

「障害者情報クラブILセンター」はアルファベットを使っております。

特定非営利活動法人とことこニュース

所在地 〒665-0882

兵庫県宝塚市山本南2-6-5

NPO法人とことこ障害者情報クラブILセンター

【障害者情報クラブへのご寄付、会費の振込みの方】

TEL&FAX 0797-82-2233

E-M AIL sjcil@hotmail.co.jp

郵便口座 14360-43110611

障害者情報クラブ

銀行口座 三井住友銀行 逆瀬川支店普通3566211

障害者情報クラブ

【アイエルセンターへのご寄付の方は】

池田銀行 山本支店 普通 28004

特定非営利活動法人 とことこ 理事長 中山君江